

第17回岡山県高等学校英語スピーチコンテスト
兼 第17回中国地区高等学校英語スピーチコンテスト岡山県予選
実施要項

- 1 趣 旨 わが国の高校生の英語による表現力を伸ばし、英語学習に対する関心を高めるとともに、国際的視野を持つ人材の育成に資する。
- 2 主 催 岡山県高等学校教育研究会英語部会
- 3 後 援 岡山県教育委員会、山陽新聞社、NHK岡山放送局、岡山県高等学校教育研究会
- 4 大会運営 岡山県高等学校英語スピーチコンテスト実行委員会
- 5 期 日 令和6年9月21日(土) (予備日 令和6年9月22日(日))
※不測の事態によって中止・延期になった場合の代替日として予備日を設定しています
- 6 日 程 受 付 8:45~9:15
開会式 9:30~9:50
予 選 10:00~12:00
本 選 13:00~15:00
なお、参加希望者数によっては予選を実施しないことがあります。
- 7 会 場 岡山県立倉敷青陵高等学校
〒710-0043 倉敷市羽島 1046-2 TEL:086-422-8001
- 8 参加資格 県内の高等学校・中等教育学校(後期課程)・特別支援学校及び高等専門学校
(1~3年)に在籍する生徒とする。ただし、各校2名以内とする。
- 9 論 題 自由(未発表のオリジナル原稿に限る)。
ただし、県大会、中国地区大会、全国大会を通じて、スピーチの内容に大きな改変を加えてはいけません。
- 10 応募方法
(1) 参加を希望する学校は、校長の了承のもとで、「応募申込書」と「スピーチ原稿(A4判、縦)」をメールにより提出するものとする。
「スピーチ原稿」には学校名・生徒氏名・論題をローマ字(もしくは英語)で明記する。なお、提出された原稿は返却しない。
(2) 応募されたスピーチ原稿の著作権は、主催者に帰属する。
- 11 申込先 岡山県立津山高等学校 堀家 利沙
E-mail: risa_horike@pref.okayama.jp
※ 件名には「スピコン応募(〇〇高校)」と記入すること
- 12 申込期限 令和6年9月2日(月)17:00必着
- 13 制限時間 4分30秒から5分30秒
- 14 審査基準 内容(Contents)50点 英語(English)30点 話し方(Delivery)20点
スピーチの後に、スピーチ内容に関する、英語での質疑応答はなし。
- 15 審査員 ネイティブ・スピーカー2人を含む5人程度(予定)
- 16 引 率 必ず、参加する生徒の在籍する学校の教員が引率する。
※引率者には当日の大会運営への協力を依頼することがある。
- 17 表 彰 岡山県教育委員会教育長賞 他1位から6位までを表彰する。

[附 則]

1 参加資格

参加資格の項にある学校に在籍する外国籍の生徒も参加できる。ただし、英語を母語とする者は参加できない。

また、留学経験等のある生徒（次の(a)～(c)のいずれかに該当する生徒）も参加できるが、応募申込書にその旨を記載すること。

- (a) 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6ヶ月以上、英語圏（英語を第一言語、公用語、または公用語に準ずる言語として使用する国、地域）に居住した者。※英語圏詳細については別途、全英連ホームページに掲載される。ホームページ掲載は6月下旬の予定。
- (b) 日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカンスクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で教育を行っている学校を含む）に在籍し、その教育を受けたことがある者。
- (c) 満5歳の誕生日以後に、保護者または同居親族に、英語を母語とする者、もしくは英語圏出身の者がいる場合。

2 詳細通知

9月9日（月）頃までに、予選実施の有無も含め詳細についてメールまたはFAXで通知します。通知が届かない場合は、申込先までご連絡ください。

3 中国地区大会、及び全国大会への参加

県大会で選ばれた代表2名（留学経験等のある生徒は1名まで）が、中国地区大会への出場権を獲得する。さらに、中国地区大会で選ばれた代表（2名以内）が、全国大会【全国英語教育研究団体連合会（全英連）主催】への出場権を得る。

中国地区大会への出場権を獲得した者に、不測の事態が起こった場合は、主催者で別途協議する。ブロック大会は次の9つとなっている。

北海道、東北、関東甲信越、東京、東海北陸、近畿、中国、四国、九州

4 制限時間

- (a) 計時は、生徒の第一声から開始する。
- (b) 4分、4分30秒、5分、5分30秒の時点で時間をカードで示す。また、5分30秒で1回卓上ベルを鳴らす。
- (c) 4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合には、減点する。

5 その他

- (a) スピーチの際には、道具を使用しないこと。
- (b) 予選、本選ともに、発表者はマイクを使用する。